

## 【中国からの日本ウォッチング—人民日報の日本関連記事から】

今年の7月28日から、東京渋谷のオーチャードホールで、中国の雑技と西洋のクラシックバレエをミックスさせた〈白鳥の湖〉が上演され、毎日長蛇の列ができる大変な盛況振りとなりました。

上海都市舞踏社製作・広州軍区戦士雑技団公演によるこの雑技バレエ〈白鳥の湖〉は既に中国国内で大評判になり、海外公演の依頼が殺到しています。

公演終了時には、比較のおとなしい日本の観客にしては珍しく満場総立ちの拍手喝采となりました。東京では15回連続公演となり、その後、大阪や福岡でも公演が開催されました。またテレビでも放映され、翌日にそこかしこでホットな話題になったことは記憶に新しいことです。

中国と日本の文化交流は既に多くの成果を上げ、映画、音楽、絵画など様々な分野で分厚い信頼関係が構築されています。8月8日の人民日報に新中国大使に任命された宮本雄二氏のインタビュー記事が掲載されましたが、その中で宮本氏は、

「現在、両国間の人間の往来は年に延べ400万人に達し、毎週500便以上の民間航空機が飛んでいる」

「中国に長期滞在している日本人は10万人を超え、友好都市は300あまり、在日中国人留学生も10万人以上になっている」

と述べ、日本と中国の文化的つながりにも言及しましたが、民間での様々な交流を通して、互いの文化をよく理解し、尊敬の念を持ち、親しみを持つことが何より大切といえましょう。